

戸田安彦町長の選任、議会の承認を経て、安藤尚志町教育委員会教育長が再任されました。任期は12月4日から3年間。これまでの6年間で振り、今後の教育行政への抱負を聞きました。

平成27年から、信頼される学校づくりや社会教育活動の充実を目指してきた安藤教育長は「ここ数年、求められるもの多様化、次々と実施される新しい制度と、とにかくものすごい変化のスピードを実感しています」と振り返りました。コミニティスクール、いじめ・不登校問題、幼保小中高の連携、ICT教育、教員の働き方改革…。その流れの中で「これまでの実践、取り組みをしっかりとしたものにしていき

安藤教育長再任



えば人間的な触れ合いが必要。これを大事にしたいと思っています」。

たい。人を育てるのは一つ一つの積み重ねやゆっくりとした教師と子どもの教育活動、もつとい

これまでの取り組みをしっかりとものに

生涯学習という活動も、高齢化が進むにつれ重要性を増してきました。「人生100年時代」の到来に向けて、「一般に高齢者は支えられる、というイメージですが、高齢者の方々が『自分たちが社会を支える』という意識が大事」と考えています。「これからは生涯学習もそれぞれの世代に対して進めていかなければと感じています。いろいろな選択肢の提供とライフスタイルに合った学びの場として」と、広い展開を見据えています。

古里に愛着を持ってもらいたい願いは、『村を育てる学力』

「子どもたち一人ひとりに『古里』をつくりたい」

という尊敬する人の言葉を挙げ、「世界のどこにいても古里への思いを持ち続ける」という思いを育てるのが学校教育の理想と云う。「オール白老で子どもたち一人ひとりに古里をつくりたい。現代は『答え』のない時代。何を判断基準とするか、皆さんと熟議（熟慮と議論）を重ねながら課題解決をしていきたい」。

◆
あんどう・ひさし 道教育大学岩見沢校卒。昭和57年登別市登別小を皮切りに教壇に立ち、平成17年の白老町緑丘小をはじめ白老、苦小牧の各小で校長を務め、同27年から現職に。浦河町出身。64歳。

入選おめでとうございます 令和3年度読書感想文コンクール入選者発表

町立図書館は毎年7～8月に小中学校を通じて読書感想文を募集しています。2年度はコロナ禍により中止となりましたが、今年は各校の協力により、445点の応募がありました。校内の一次審査の後、審査委員による二次審査で26点が入選作品として選ばれ、入選者には各学校を通じて、表彰状と記念品が贈呈されました。入選者は下記の通りです。（敬称略）

小学生の部

- 【1年生】 三河千華（萩野）、佐藤蓮太（萩野）、渡辺 操（虎杖）
- 【2年生】 古俣勇琥（白老）、工藤渚生（萩野）、米本宗正（虎杖）
- 【3年生】 石田伊織（萩野）、川村璃緒（虎杖）、寺井 峻（虎杖）
- 【4年生】 吉田向陽（白老）、菊池叶成（白老）、野村天葵（白老）
- 【5年生】 佐々木雫（白老）、下澤優葉（萩野）、坂本怜菜（虎杖）
- 【6年生】 宮川亜砂美（萩野）、川内谷遥花（萩野）、近藤優花（虎杖）

中学生の部

- 【1年生】 曾根優太（白翔）、八巻皇太（白翔）、下澤風那（白翔）
- 【2年生】 泉野知花（白老）、柳澤幸太（白老）
- 【3年生】 吉武夏峰（白老）、野村明日海（白老）、吉田まや（白翔）



交通安全 啓発看板を設置

白老建設協会・白老貨物運送事業社協議会が寄贈



昨年11月16日、国道36号社台地区（旧公民館跡）に設置しました。昨年も交通安全運動に尽力いただきありがとうございます。今年も皆さんの協力を得ながら「死亡事故ゼロ」を目指したいと思います。

（町交通安全町民運動推進委員会）